

授業科目	地域プロジェクト				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO10602J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP3-1 DP4-1			
担当教員	高橋 幸夫、Malcolm Ross Swanson、塚本 美紀							
授業概要	<p>本授業は英語学科と観光文化学科の合同授業である。</p> <p>北九州は国連大学が認定する RCE(Regional Centre of Expertise on ESD)であり、公害を克服し、環境未来都市として様々な取り組みが産官学のみならず、草の根レベルでも行われている。この授業では、北九州の環境問題、地域の課題について学ぶとともに、企業・地域発展のための事業提案までのプロセスを学修・体験する。</p> <p>具体的な授業内容として、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 北九州の地域の課題や ESD、SDGs について学ぶ 2. 地域の課題について調査する 3. 地域の課題を解決するためのプロジェクトを企画し実施する <p>なお、社会状況などにより授業テーマ・内容・方法・スケジュールなど変更することもある。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 北九州の地域の課題や ESD、SDGs を理解することができる。 2. 地域で自らが取り組むことができる課題を発見することができる。 3. 地域の課題を解決するためのプロジェクトを企画し実施することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	50	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)			20	20			40	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			20	20			40	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)				10		10	20	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
北九州における ESD や SDGs の取り組みについて説明することができる。 地域課題を解決するためのプロジェクトを企画し実施することができる。				北九州における ESD や SDGs の取り組みについて理解することができる。 地域の課題を理解し、その解決の方法について考えることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	授業ガイダンス(授業概要の説明)	講義	該当部分の復習	30
2	環境ミュージアム訪問	演習	該当部分の復習	30
3	SDGsを知る(2030SDGs)	講義(外部講師) 演習	該当部分の復習	30
4	ESDを知る(ジオかるた)	講義(外部講師) 演習	該当部分の復習	30
5	地域の課題についての講義	講義 グループワーク	該当部分の復習	30
6	地域の課題についての調査	グループワーク	該当部分の復習	30
7	調査結果についての発表	グループワーク	該当部分の復習	30
8	企画立案1	グループワーク フィールドワーク	該当部分の復習	30
9	企画立案2	グループワーク フィールドワーク	該当部分の復習	30
10	グループ発表	グループワーク プレゼンテーション	該当部分の復習	30
11	企画の準備1	グループワーク	該当部分の復習	30
12	企画の準備2	グループワーク	該当部分の復習	30
13	企画の準備3	グループワーク	該当部分の復習	30
14	企画の実施	グループワーク	授業全ての復習	60
15	授業のまとめ レポート課題について	講義	授業全体の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	1年次、2年次前期の観光・地域活性化関連必須科目およびマーケティング入門の履修単位取得済が望ましい。			
テキスト	授業資料(プリント)などを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	その都度授業内で紹介・解説する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	この授業では、行政や地域の団体や個人と連携して、地域の課題を解決するためのプロジェクトを実際に行いながら、学びを深めていくものです。教育、国際交流、地域貢献、観光開発実務やマーケティング実務などを学びたいと考えている学生の履修を望みます。 なお、グループワーク、フィールドワークの進め方については、ガイダンス及び各授業内で指示します。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	第1回授業(ガイダンス)で説明する。「その他」については、授業中の発言やグループワークでのリーダーシップ等によって評価する。課題に対するフィードバックは、講義やグループワーク等の際に口頭で行なったり、振り返りシートにコメントを記入して返却するなどして実施する。			

